

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

| | | | |
|----|------|----|----|
| 分野 | 伝統芸能 | 種目 | 邦楽 |
|----|------|----|----|

申請区分(申請する区分を選択してください。)

| | |
|------|-------|
| 申請区分 | A区分のみ |
|------|-------|

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

| | |
|---------|---|
| 複数申請の有無 | 有 |
|---------|---|

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

| | |
|--------------------|--------------------------|
| 複数の企画が採択された場合の実施体制 | 公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能 |
|--------------------|--------------------------|

| | |
|------------|--|
| その他を選択した場合 | |
|------------|--|

芸術文化団体の概要

| | | | |
|-------------------|---|--|------------------------------------|
| ふりがな 制作団体名 | こうえきしゃだんほうじん にほんさんきょくきょうかい 公益社団法人 日本三曲協会 | | |
| 代表者職・氏名 | 会長 廣田 鈍山(本名:廣田 隼人) | | |
| 制作団体所在地 | 〒107-0052 | | |
| | 東京都港区赤坂2丁目15-12 パール赤坂403 (東京メトロ千代田線 赤坂駅) | | |
| 電話番号 | 03-3585-9916 | FAX番号 | 03-3585-9923 |
| ふりがな 公演団体名 | こうえきしゃだんほうじん にほんさんきょくきょうかい 公益社団法人 日本三曲協会 | | |
| 代表者職・氏名 | 会長 廣田 鈍山 | | |
| 公演団体所在地 | 〒107-0052 | | |
| | 東京都港区赤坂2丁目15-12 パール赤坂403 (東京メトロ千代田線 赤坂駅) | | |
| 制作団体 設立年月 | 平成22年8月 | | |
| 制作団体組織 | 役職員 | 団体構成員及び加入条件等 | |
| | (会長)廣田鈍山(副会長)萩岡松韻、 牧瀬裕理子(常任理事)青木鈴慕ほか6 名(理事)阿部幸夫ほか14名(監事)鳥 居名美野ほか2名 | 会員数4,687名(令和3年3月末現在)。当会の目的及び事業に賛同して入会した個人の三曲教授者又は演奏家で、当会に会費を納める者。入会には正会員1名の推薦を受けて理事会の承認を得ることが必要。(定款第5条及び第6条) | |
| 事務体制の担当 | 他の業務と兼任 | 本事業担当者名 | 神令(チーフ)、芦垣梶盟、大嶋敦子、佐々木千香能、武田旺山、花岡操聖 |
| 経理処理等の 監査担当の有無 | 有 | 経理責任者名 | 羽鳥省三(事務局) |

| | | | |
|----------------|--|---|------------|
| 制作団体沿革 | <p>昭和15年6月に、当時の芸能統制令によって日本音楽三曲の各流派の教授者・演奏者等を糾合して結成された「大日本三曲協会」を基盤として、同43年11月に公益法人として発足。平成22年8月に公益社団法人の認定を受け、現在に至る。</p> | | |
| 学校等における公演実績 | <p>【令和元年度】 ①本事業による巡回公演:13公演 ②東京都主催事業による学校公演:4公演 ③芸団協(公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会)受託事業による「キッズ伝統芸能体験」(子供を対象として箏7クラス、尺八2クラス、それぞれ16回のお稽古の後、合同で成果発表会。参加者児童・生徒数合計117名)</p> <p>【令和2年度】 ①本事業による巡回公演:5公演 ②東京都主催事業による学校公演:4公演 ③芸団協(公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会)受託事業による「キッズ伝統芸能体験」(子供を対象として箏4クラス、尺八2クラス、それぞれ14回のお稽古の後、合同で成果発表会。参加者児童・生徒数合計47名)</p> <p>【令和3年度(いずれも予定数)】 ①本事業による巡回公演:7公演 ②東京都主催事業による学校公演:4公演 ③芸団協(公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会)受託事業による「キッズ伝統芸能体験」(子供を対象として箏4クラス、尺八2クラス、それぞれ16回のお稽古の後、合同で成果発表会。参加者児童・生徒数合計55名)</p> | | |
| 特別支援学校における公演実績 | <p>平成25年度:茨城県立土浦特別支援学校 平成26年度:富山県立高岡支援学校、福島県立大笹生養護学校 平成27年度:長崎県立島原特別支援学校 いずれも本事業によるワークショップと鑑賞公演を実施。</p> | | |
| 参考資料の有無 | A | 申請する演目のチラシパンフレット等 | 有 |
| | | 申請する演目のDVDまたはWEB公開資料 | 有 |
| | | ※公開資料有の場合URL | |
| | | ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード | ID: PW: |
| | Aの提出が困難な場合 | 今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料 | |
| | | ※公開資料有の場合URL | |
| | | ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード | ID: PW: |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益社団法人 日本三曲協会 】

| | | | | | |
|-------------------------------|---|-------------|-----------------------|--------------------|----------------------------|
| 対象 | <input type="radio"/> | 小学生(低学年) | <input type="radio"/> | 中学生 | |
| | <input type="radio"/> | 小学生(中学年) | | | |
| | <input type="radio"/> | 小学生(高学年) | | | |
| 企画名 | 和楽器の魅力 | | | | |
| 本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付 | <p>以下の演目を演奏します。</p> <p>【A】箏と三絃の古典曲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱を伴う箏と三味線による古典曲 ・歌唱を伴う箏と三味線に尺八も加わった古典曲(三曲合奏) <p>【B】尺八の古典曲</p> <p>【C】普段音楽科の授業で馴染みのある曲。児童生徒の合唱との共演も含みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領で歌唱教材及び鑑賞教材として取り上げられている曲 ・教科書に掲載されている曲 ・実施校の校歌 など。 <p>☆ それぞれの学校と具体的に相談の上、ご要望に合わせて構成します。 (各グループ【A】【B】【C】の候補曲名は、演目概要欄に記載) 公演時間(90分)</p> | | | | |
| 著作権 | <input type="checkbox"/> | 制作団体が所有 | <input type="radio"/> | 制作団体以外が所有する事項が含まれる | (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾状況 |
| 演目概要 | <p>以下の演目を演奏します。</p> <p>【A】箏と三絃の古典曲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱を伴う箏と三味線による古典曲 ・歌唱を伴う箏と三味線に尺八も加わった古典曲(三曲合奏) <p>【B】尺八の古典曲</p> <p>【C】普段音楽科の授業で馴染みのある曲。児童生徒の合唱との共演も含みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領で歌唱教材及び鑑賞教材として取り上げられている曲 ・教科書に掲載されている曲 ・実施校の校歌 など。 <p>☆ それぞれの学校と具体的に相談の上、ご要望に合わせて構成します。 (各グループ【A】【B】【C】の候補曲名は、演目概要欄に記載) 公演時間(90分)</p> | | | | |
| 演目選択理由 | 和楽器の魅力は、1つにはその音色の豊かさが挙げられます。そして箏、三味線、尺八共に音色を生かした様々な「奏法」があり、各楽器を特徴付けています。鑑賞曲は、古典曲の他、特に「奏法」を効果的に用いていて、楽器と音楽の特徴をつかみやすく児童・生徒がイメージを捉えやすい作品を選曲し、初めて鑑賞する上でより親しみを感じやすい工夫をしています。 | | | | |
| 児童・生徒の共演、参加又は体験の形態 | 和楽器の魅力は、1つにはその音色の豊かさが挙げられます。そして箏、三味線、尺八共に音色を生かした様々な「奏法」があり、各楽器を特徴付けています。鑑賞曲は、古典曲の他、特に「奏法」を効果的に用いていて、楽器と音楽の特徴をつかみやすく児童・生徒がイメージを捉えやすい作品を選曲し、初めて鑑賞する上でより親しみを感じやすい工夫をしています。 | | | | |
| 出演者 | 別紙に「出演候補者一覧」を添付しますが、本事業の実施場所及び実施期間により、他の出演者を適宜選抜することをご了承ください。 演奏者は、いずれも各流派の家元の監督・指導を受ける確かな日本伝統音楽の継承者で、年齢層は児童・生徒の年代に近い若手からベテランまでの幅広い人材を登用することにより、様々な世代に受け継がれている日本伝統音楽の現状をご覧いただけます。 | | | | |
| 公演出演予定者数 (1公演あたり) | 出演者: 8 名 | 機材等 運搬方法 | 積載量: t | | |
| | スタッフ: 6 名 | | 車長: m | | |
| | 合計: 14 名 | | 台数: 2 台 | *ワンボックスタイプの乗用車 | |

【公演団体名 公益社団法人 日本三曲協会 】

| | | | | | | |
|---------------------------------|---|--|------------|-----|-------------------|------|
| 実施に当たっての 会場条件 | 実施条件等確認書①をご確認ください。 | | | | | |
| 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安 | 前日仕込み | 無 | 会場設営の所要時間 | | 1.5 | 時間程度 |
| | 到着 | 仕込み | 本公演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 |
| | 10時 | 10時～12時30分 | 13時～14時40分 | 10分 | 14時50分～ 15時50分 | 16時 |
| | ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。 | | | | | |
| 児童・生徒の 参加可能人数 | ワークショップ | 一コマ最大30名程度(三コマまで実施可能)が望ましいですが、 応談対応いたします。 | | | | |
| | 本公演 | 特に人数の制限はありません。(会場が確保できれば) | | | | |
| ワークショップ 実施形態及び内容 | <p>箏若しくは尺八の演奏実技指導を行います。実際のお稽古に使われる平易な曲などを用いて、伝統的な歌唱にも取り組んでもらいます。</p> <p>既に和楽器演奏経験のある児童・生徒には、修得技術のレベルによりクラス分けを行い、修得度別のグループレッスンをすることも可能です。</p> <p>学校の実態や希望に合わせ、学校側と連携を取りながら実施します。</p> <p><実施例> 楽器の説明 →演奏方法の説明と体験 →模範演奏 →質疑応答</p> <p>☆実施状況の写真資料を添付します。</p> | | | | | |
| ワークショップ 実施形態の意図 | 和楽器の実技指導は、学習指導要領に明記されているにもかかわらず、その実施は決して十分とは言えない現状があります。ワークショップでは、児童・生徒の発達段階、実態に合わせ、参加可能な教材を選定して実施します。実態に合わせ、楽曲の一部分ないし全曲を講師とともに演奏します。表現活動と鑑賞活動の往還により、和楽器とその音楽への理解が一層深まるものと考えます。 | | | | | |
| 特別支援学校での 実施における工夫点 | 特別支援学校では、鑑賞会を中心として開催しますが、ワークショップについても児童生徒の実態に合わせて、可能な限りの取り組みを実施したいと考えています。 | | | | | |
| 実施可能時期 | 実施可能時期スケジュール表をご確認ください。 | | | | | |

| リンク先 | No.2 | | | |
|--------|---------|---------|--------|--------|
| | 生田流 | 山田流 | 琴古流 | 都山流 |
| 出演候補者 | 安嶋 三保子 | 朝香 麻美子 | 青木 滉一郎 | 安島 瑤山 |
| | 阿部 大介 | 新井 来由賀 | 芦垣 皋盟 | 川村 葵山 |
| | 阿部 勇介 | 伊藤 ちひろ | 遠藤 鈴匠 | 菊地 河山 |
| | 新井 智恵 | 奥山 益勢 | 大山 貴善 | 柴 香山 |
| | 石井 雅楽帆 | 金澤 法花能 | 金子 朋沐枝 | 武田 旺山 |
| | 石田 真奈美 | 金子 寛榮勢 | 黒田 鈴尊 | 田辺 恵山 |
| | 板橋 雅楽美々 | 北村 紗海明能 | 神 令 | 友常 昆山 |
| | 岩本 雅迪映 | 小林 千佳子 | 清野 樹盟 | 長谷川 将山 |
| | 大嶋 敦子 | 小林 名与郁 | 田嶋 謙一 | 樋口 景山 |
| | 岡戸 雅実歌 | 佐久間 杜和能 | 長須 佳盟 | 藤原 道山 |
| | 岡崎 敏優 | 佐々木 千香能 | | 舛田 路山 |
| | 岡村 慎太郎 | 佐野 博月 | | 三井 闌山 |
| | 奥田 雅楽之一 | 設楽 千聡代 | | |
| | 上條 妙子 | 城ヶ崎 明雪勢 | | |
| | 神立 雅美順 | 杉本 禮代賀 | | |
| | 亀川 敏理 | 武田 博華 | | |
| | 北川 雅楽乃 | 田中 奈央一 | | |
| | 吉川 卓見 | 利根川 倫勢 | | |
| | 久野木 史恵 | 長岡 園美咲 | | |
| | 小畔 香子 | 萩岡 松柯 | | |
| | 齊藤 文香代妃 | 萩岡 由子 | | |
| | 阪元 沙有理 | 樋口 千清代 | | |
| | 佐藤 文岳晶 | 森田 博代 | | |
| | 白橋 操悠 | 山下 紗綾 | | |
| | 瀧口 舞衣子 | 山下 名緒野 | | |
| | 多々良 香保里 | 横山 伊綴流 | | |
| | 田邊 雅震翠 | 渡辺 岡華 | | |
| | 富山 清仁 | 渡辺 鳳代賀 | | |
| | 中小路 奈都子 | | | |
| | 長塚 梨秋 | | | |
| | 中地 麻紀 | | | |
| | 中島 雅裕 | | | |
| | 新見 雅晃 | | | |
| | 野口 敏翠 | | | |
| | 野坂 恵璃 | | | |
| | 野澤 潤子 | | | |
| 花岡 操聖 | | | | |
| 久松 雅紗恵 | | | | |
| 福田 操明櫻 | | | | |
| 藤井 佐和 | | | | |
| 松本 史子 | | | | |
| 村田 章子 | | | | |
| 山形 光 | | | | |
| 吉田 敏乃 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

「和楽器の魅力」

シルクロードを経て、ユーラシア大陸から奈良時代に日本に伝わった様々な楽器がその後日本で独自の発展を遂げ、現代までに多彩な音楽を生み出してきました。その中に三曲と呼ばれるジャンルがあります。「三曲」とは、一般に箏、三絃、尺八（胡弓）による演目の総称で、三者の共演を三曲合奏と呼びます。それぞれの楽器はルーツが異なるものの、互いにその音色を奏する事で、古典曲から現代曲まで音楽世界にゆたかな広がりを与えます。この映像では、それぞれの楽器の歴史的背景や特色を紹介するとともに、演奏を行い、三曲による邦楽の魅力を改めて身近に感じてもらいたいと思います。

「出演者」

出演者は公益社団法人日本三曲協会に所属する正会員で、人間国宝をはじめとした、当代一流の演奏家に日々指導を受けている演奏家です。全国各地の学校公演にも力を入れており、児童生徒の皆さんとの交流を楽しみにしています。

「演奏曲目」

演奏曲目は、江戸時代を中心に作曲された古典を中心としながら、明治以降に洋楽の作曲法を取り入れて作られた新日本音楽、そして現代に作曲された、馴染み深い楽曲などです。今回は児童の皆さんとの合唱を想定して和楽器編成のために編曲された「ピリープ」を演奏します。過去には、それぞれの学校の校歌を編曲して、皆さんと共に演奏したこともありました。和楽器を身近な音楽に取り入れる発想も生まれますので是非イメージを膨らませてみてください。

ワークショップ及び本公演の様子です。

本事業にて行われてきた写真です。教育現場における実際の活用を念頭に実施予定です。子供にも本物の和楽器の演奏を楽しく学習できるような内容になっています。また、団体で制作した音楽教師向けのテキストを用いることにより、事業実施前後に後音楽科教員による予習や指導を行う事も可能です。



教室でのワークショップ



山梨県でのワークショップ



多目的室での講習会



楽習会での楽器説明



多目的室でのワークショップ



体育館でのワークショップ



体育館での講習会



楽習会での水琴窟の触れ合い



「三曲」は「地歌」「尺八楽」の3つのジャンルの音楽を「三曲」と呼びます。これらは箏、三絃（三味線）、尺八又は胡弓という楽器を使った音楽です。また、「箏曲」と「地歌」については、楽器を演奏しながら歌を唄うこともあります。



京都で三絃の名人とされた八橋検校は、江戸で筆を学んで「箏曲」をつくりました。箏を弾きながら歌う音楽が中心で、17世紀の中頃には親しみやすいように曲や楽器を工夫したおかげで、ほとんど世の中に広まっています。そのようなかで、生田検校と山田検校という二人の名人たちが活躍し、その弟子たちは後世それぞれ「生田流」「山田流」という流派を名乗り、現在まで伝えられています。



江戸時代のはじめの頃（17世紀前半）に、京都や大阪を中心に、三絃（三味線）を弾きながら歌を唄う音楽として「地歌」がつけられました。箏曲と同じく「検校」や「勾当」という官位を受けた、言入音楽家連が多くの名曲を作り、別のジャンルの音楽で演奏されている箏と三絃が合奏するようになりました。箏と三絃の結びつき、さらには胡弓や尺八とも縁がり、地歌はより豊かな音楽性を持って、現在まで伝えられています。



現在私たちが使う尺八は、鎌倉時代の終わりの頃に日本に伝えられたとされています。江戸時代には、虚無僧や武士などが中心となって様々な仏教音楽がつけられました。また、江戸時代の中頃からは箏や三絃（三味線）との合奏がされはじめ、明治時代以降にはさらに盛んにされるようになり、仏教音楽とともに尺八音楽として強壮まで伝えられています。

公益社団法人日本三曲協会

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

| | | | | | | | | | |
|-------|---------------|----|------|----|-------|---------------|---|----|-----|
| ID | I121 | 分野 | 伝統芸能 | 種目 | 邦楽 | ブロック | I | 区分 | A区分 |
| 公演団体名 | 公益社団法人 日本三曲協会 | | | | 制作団体名 | 公益社団法人 日本三曲協会 | | | |

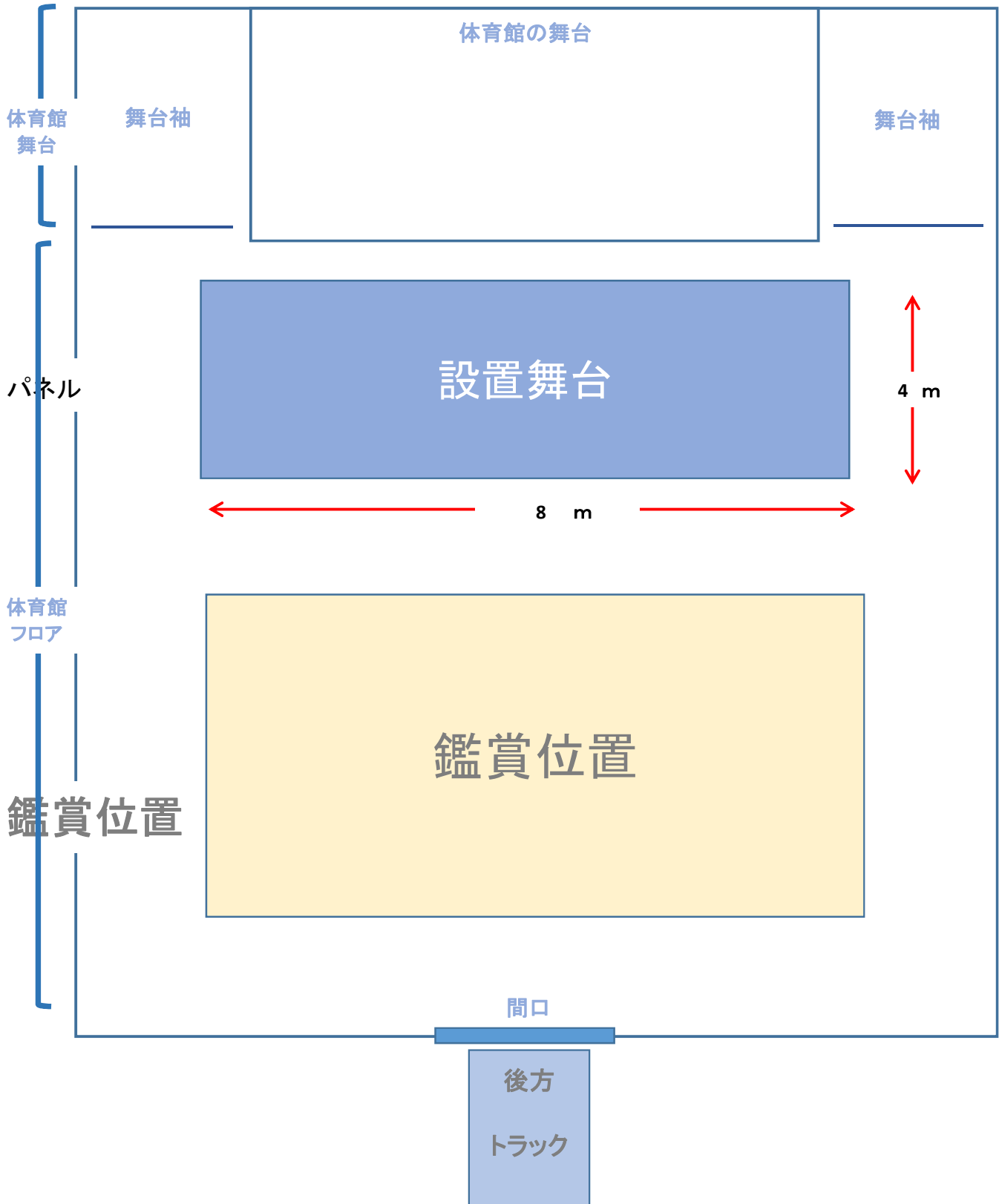
① 会場条件等についての確認

| 項目 | 必要条件等 | | | | | | | 応相談 | |
|------------|-----------------------------------|---------------------------|-----------------|--|--------------|-------|------------------------|------|---|
| 控室について | 必要数 * | 2室 | 条件 | 姿見を各部屋に一台 | | | | 可 | |
| 搬入について | 来校する車両の大きさや台数 * | | | バン | 4台 | | | 不可 | |
| | 上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細 | | | | | | | / | |
| | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ | | | 特になし | | | | — | |
| | 搬入車両の横づけの要否 * | | | 不要 | | | | — | |
| | 横づけができない場合の搬入可能距離 * | | | 問わない | | | | — | |
| | 搬入経路の最低条件 | | | 問わない | | | | — | |
| | 理由 | | | | | | | / | |
| | 設置階の制限 * | | | 問わない | | | | — | |
| | 搬入間口について 単位:メートル | | 幅 | 2 | 高さ | 1.8 | | 可 | |
| WSについて | 参加可能人数 | 1グループ最大30人程度 3グループまで実施可能 | | | | | 可 | | |
| | 学年の指定の有無 * | なし | 指定学年 * | なし | | | — | | |
| | 所要時間の目安 単位:分 | 小学校45分、中学校50分程度(1グループあたり) | | | | | 可 | | |
| 本公演について | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間 | | | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。 | | | | / | |
| | 鑑賞可能人数 | | | 制限なし | | | | — | |
| | 舞台設置場所 * | | | ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能 | | | | 可 | |
| | 舞台設置に必要な広さ 単位:メートル | | 幅 | 10m | 奥行 | 4m | 高さ | 指定なし | 可 |
| | 体育館の舞台を使用する場合の条件 | 舞台袖スペースの確保 * | | | 要 | | | | 可 |
| | | 舞台袖スペースの条件 * | | | ワークショップ時に要相談 | | | | 可 |
| | | 緞帳 * | | 不要 | | バトン * | | 不要 | |
| | 遮光(暗幕等)の要否 * | | | 不要 | | 理由 | | — | |
| | ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です) | | 指定位置へのピアノの移動 * | | 不要 | | ※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。 | | — |
| | | | ピアノの事前調律 * | | 不要 | | | | — |
| | フロアを使用する場合の条件 | | バスケットゴールの設置状況 * | | 格納されていれば可 | | | | 可 |
| 公演に必要な電源容量 | | | 20A | | ※主幹電源の必要容量 | | | 可 | |
| その他特記事項 | | | | | | | 応相談 | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

会場図面(表記単位:メートル)

| | | | | |
|-------------------|---|------------|----|-----|
| 搬入間口について | 幅 | 2 | 高さ | 1.8 |
| 搬入車両の横づけの要否 | | 可能であれば望ましい | | |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 | | 特に制限なし | | |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



フロア使用時